

公立大学法人青森県立保健大学の社会貢献に対する考え方

公立大学法人青森県立保健大学は、地域社会に根ざした保健医療福祉の高等教育を標榜し、ヒューマンケアを提供できる専門職の人材育成を教育理念として発展し、健康と生活の向上のために地域の人々と共に連携していくことを目指す。

そのため、本学は、基本理念と中期目標に則り、教育、研究、地域交流、国際交流等を通じて知識及び技術を創造し、有為な人材を育成する。そして、これらの成果を積極的に社会へ還元するとともに、社会に開かれた大学として知的資源を開放し、社会の発展に貢献することに努める。

この目標を実現するために、以下の地域連携ポリシー、産学官連携ポリシー、国際交流ポリシーを定める。

地域連携ポリシーは、主に青森県内における住民・自治体等及びヒューマンケアや地域活動に携わる事業者・団体等と密接に関わる教育・研究における基本的な考え方を定める。

産学官連携ポリシーは、社会貢献において、主に産業分野と密接に関わる研究・教育における基本的な考え方を定める。

国際交流ポリシーは、学外組織と連携しながら国際的な視点から本学の特性を活かした国際交流における基本的な考え方を定める。

平成 21 年 2 月 3 日

公立大学法人青森県立保健大学

地域連携・国際センター長 石鍋 圭子

研究推進・知的財産センター長 藤田 修三